

富山県水道ビジョン 骨子（概要）



目次

- 都道府県水道ビジョンとは
- 富山県の水道事業を取り巻く環境（ヒト・モノ・カネの視点）
- 富山県水道ビジョン策定の経緯
- 富山県水道ビジョンの目次案

第1章 富山県水道ビジョンの策定

第2章 一般概況

第3章 圏域区分の設定

第4章 水道の概況

第5章 将来の事業環境の見通し

第6章 水道行政の現状と課題

第7章 将来目標の設定と実現方策

第8章 関係者の役割とフォローアップ

第9章 用語集

都道府県水道ビジョンとは

水道の直面する課題

ヒト

技術の継承
職員数の減少
技術職員の確保難

モノ

施設の老朽化
管路更新率の低迷
更新費用の増加

カネ

給水収益の減少
人口減少
節水意識の高まり

水道の理想像

安全

水道水の安全

持続

運営基盤強化

強靱

危機管理・災害対策

都道府県水道ビジョンには都道府県としての方針や実現のための具体的な方策等について記載します。

本県の圏域区分

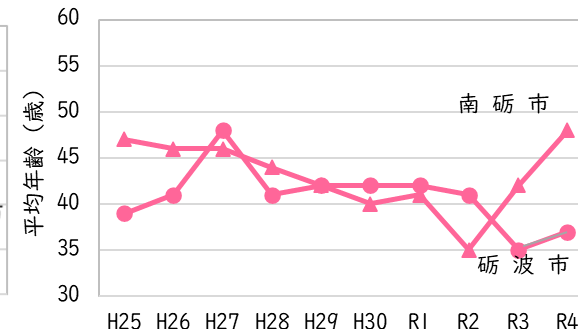
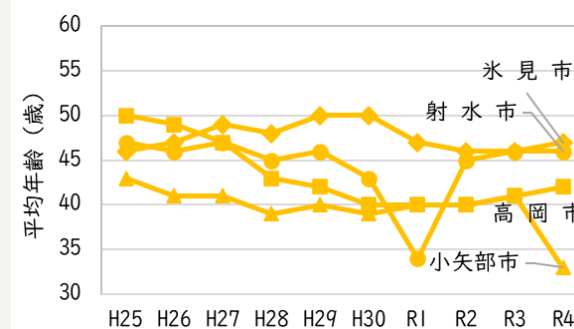
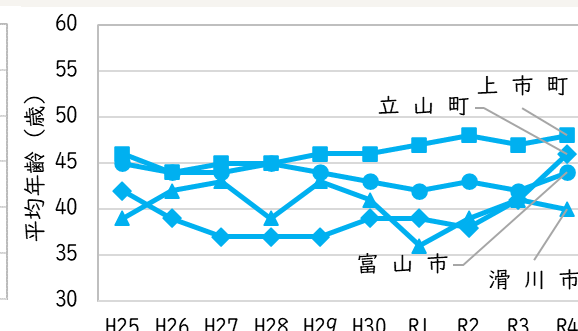
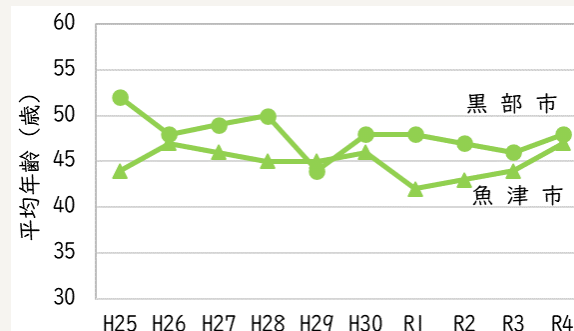
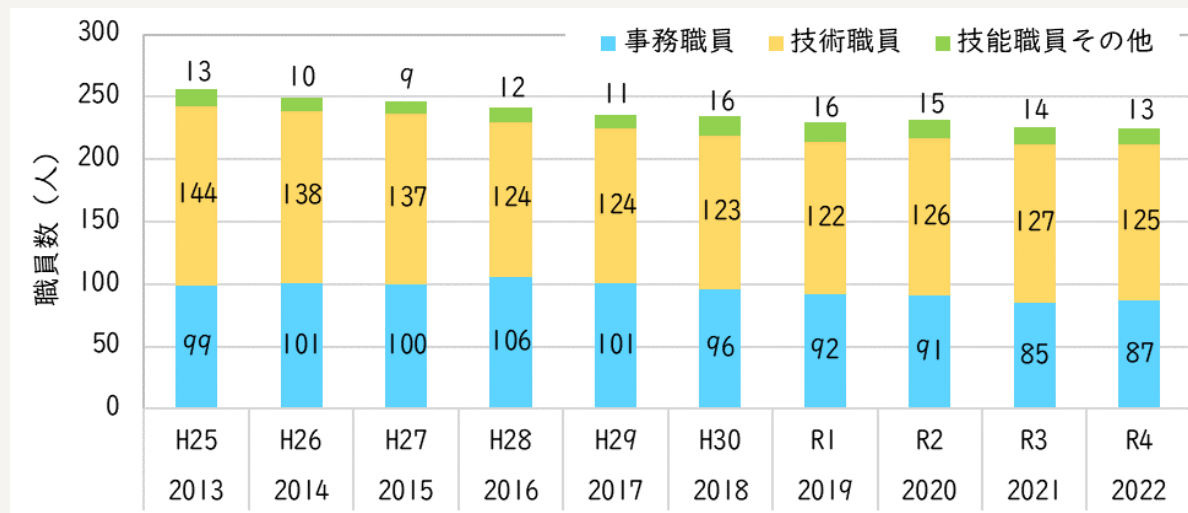
市町村合併の歴史や河川・山地等の地勢的条件、水源、水道用水供給事業の状況から以下の4つのブロックに圏域を区分しています。

- 新川ブロック
- 富山ブロック
- 高岡ブロック
- 砺波ブロック



富山県の水道事業を取り巻く環境（ヒト）

- 本県上水道事業を担う市町職員（臨時職員等を除く。）は、10年前と比較すると約12%減少しています。
- 職員の高齢化が伺える状況であり、技術職員の確保が困難な状況にあり、水道事業のサービスの低下が懸念される。



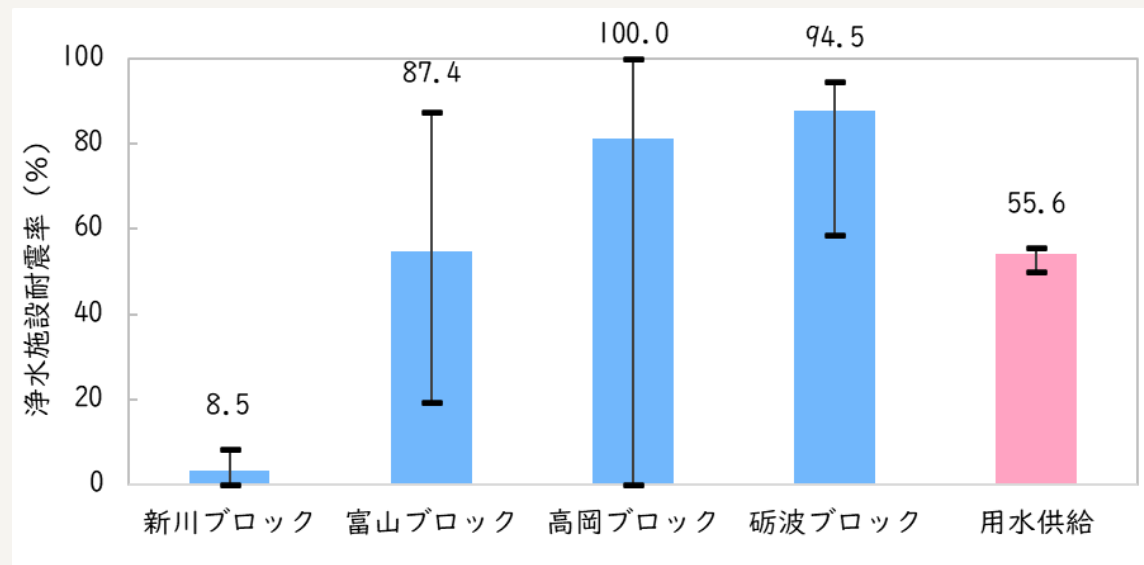
上水道事業における職員数（左）と平均年齢（右） 富山県の水道の現況

富山県の水道事業を取り巻く環境（モノ）

- 管路の経年化率や浄水施設の耐震化率はばらつきがあります。
- 法定耐用年数を超過するため、計画的に更新する必要があります。
- 地震などの自然災害に被災した場合でも、速やかな復旧や重要施設への給水を確認するためには、基幹管路の耐震化等を進める必要があります。

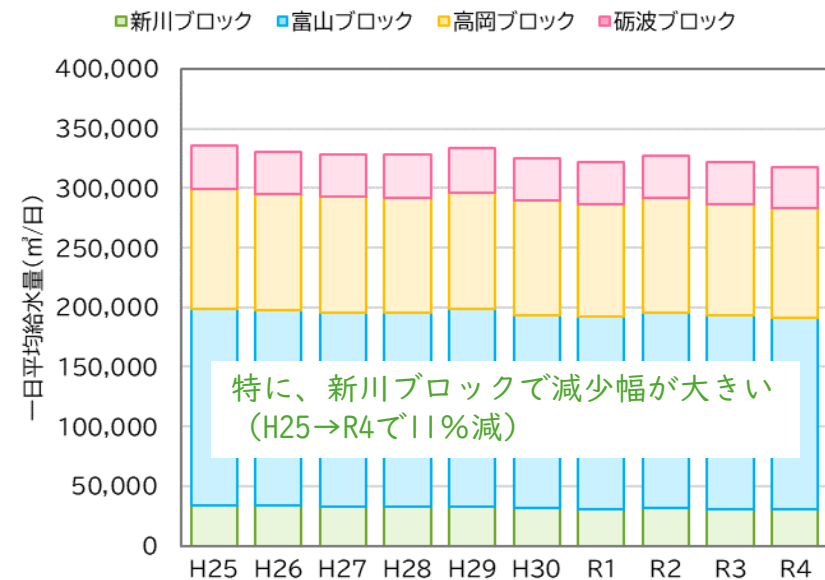
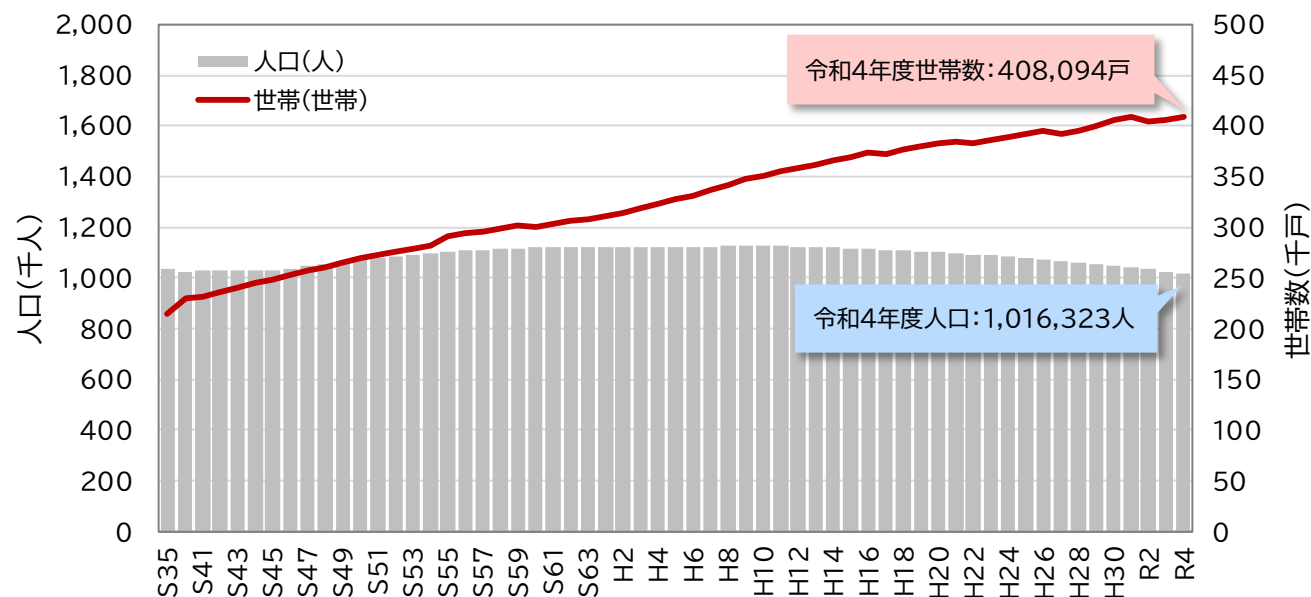
ブロック名	法定耐用年数超過管路率（％）	
	最低	最高
新川	11.14	10.38
富山	33.59	18.10
高岡	26.90	12.60
砺波	68.72	27.54
用水供給	99.28	84.22

法定耐用年数超過管路率（上）と
浄水施設耐震率（右） 令和3年度水道統計



富山県の水道事業を取り巻く環境（カネ）

- 本県の人口は、平成10年をピークに減少傾向（過去10年間で6%減）にあります。人口が減少している一方、単身世帯や夫婦世帯の増加などにより世帯数は上昇しています。
- 県の人口が減少していることから、水使用量は過去10年間減少傾向にあり、この減少に伴い水道料金収入が減少しています。



富山県の人口推移（左）（富山県人口移動調査（令和4年10月1日現在））、一日平均給水量の推移（右） 富山県の水道の現況（令和4年度）

富山県水道ビジョン策定の経緯

富山県水道広域化推進プラン（令和5年3月策定）

➡ 圏域の設定

【富山県水道ビジョン策定の検討】
富山県水道広域化推進プランにおける広域化の議論を踏まえて、広域化を含めた水道の諸課題について検討

※水道広域化推進プラン

広域化のシミュレーションを実施し、その具体的効果を比較したうえで、**広域化の推進方針**及びこれに基づく当面の具体的取組の内容やスケジュールなどを検討



富山県水道ビジョンの目次案

- 第1章 富山県水道ビジョンの策定の趣旨
- 第2章 一般概況
- 第3章 圏域区分の設定
- 第4章 水道の概況
- 第5章 将来の事業環境の見通し
- 第6章 水道行政の現状と課題
- 第7章 将来目標の設定と実現方策
- 第8章 関係者の役割とフォローアップ
- 第9章 用語集

第1章 富山県水道ビジョンの策定の趣旨

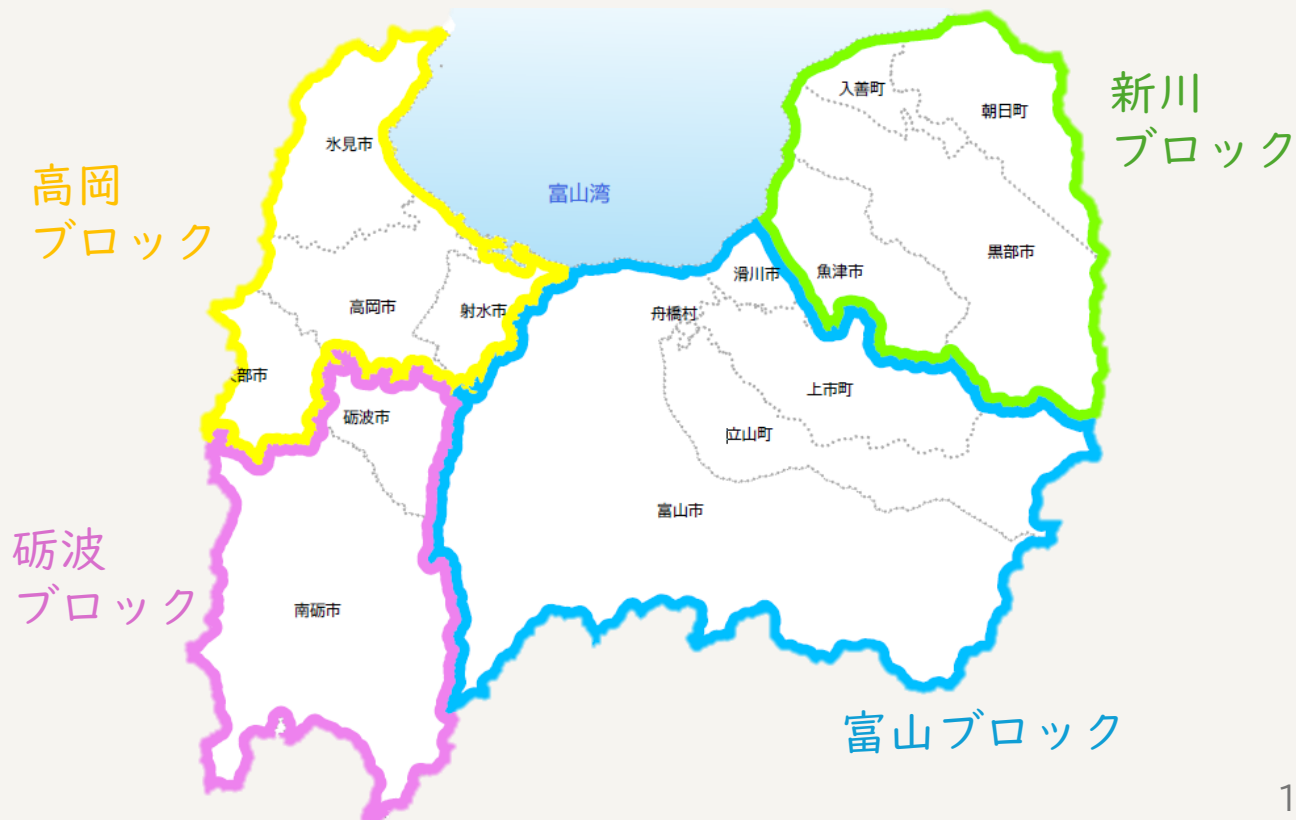
水道事業を取り巻く環境やこれまでに県が策定した計画を踏まえ、水道ビジョンの策定の必要性や位置づけ等について記述します。

- 策定の趣旨
- 本ビジョンの位置づけ
- 対象地域及び計画期間

▼ 計画期間

富山県水道ビジョン 計画期間
令和8年度～令和17年度

▼ 対象地域

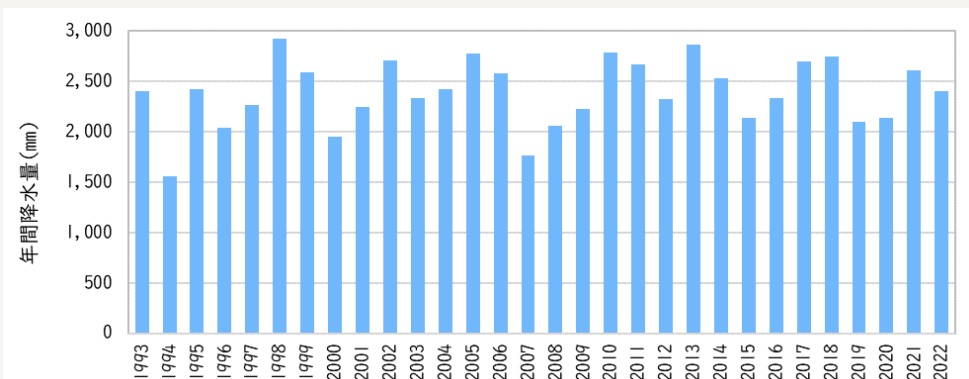


第2章 一般概況

県全域及び圏域ごとについて、水道をとりまく諸条件の概要を記述します。

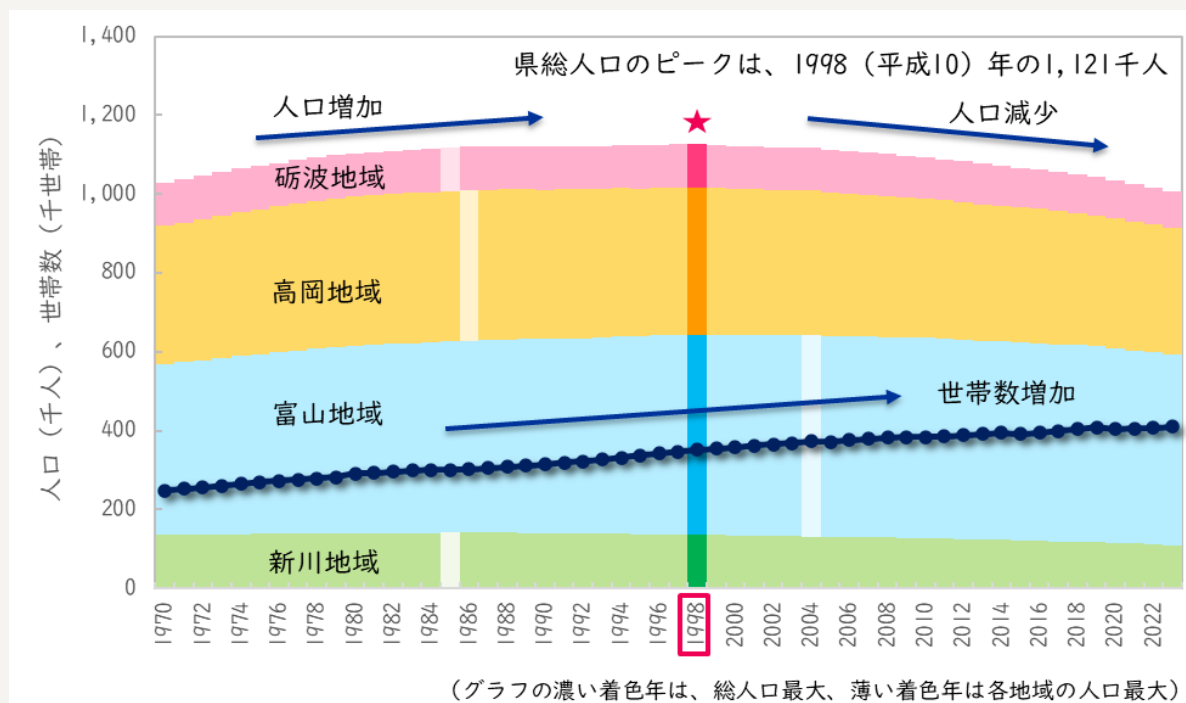
- 地勢
- 人口
- 産業
- 水資源

▼ 記載例（富山県の降雨量）



気象庁ホームページ

▼ 記載例（富山県の人口及び世帯数の推移）



富山県人口移動調査

第3章 圏域区分の設定

市町村合併の歴史や河川・山地等の地勢的条件、水源、水道用水供給事業の状況から以下の4つのブロックに大別して現況の整理、評価を行います。

- 新川ブロック
- 富山ブロック
- 高岡ブロック
- 砺波ブロック

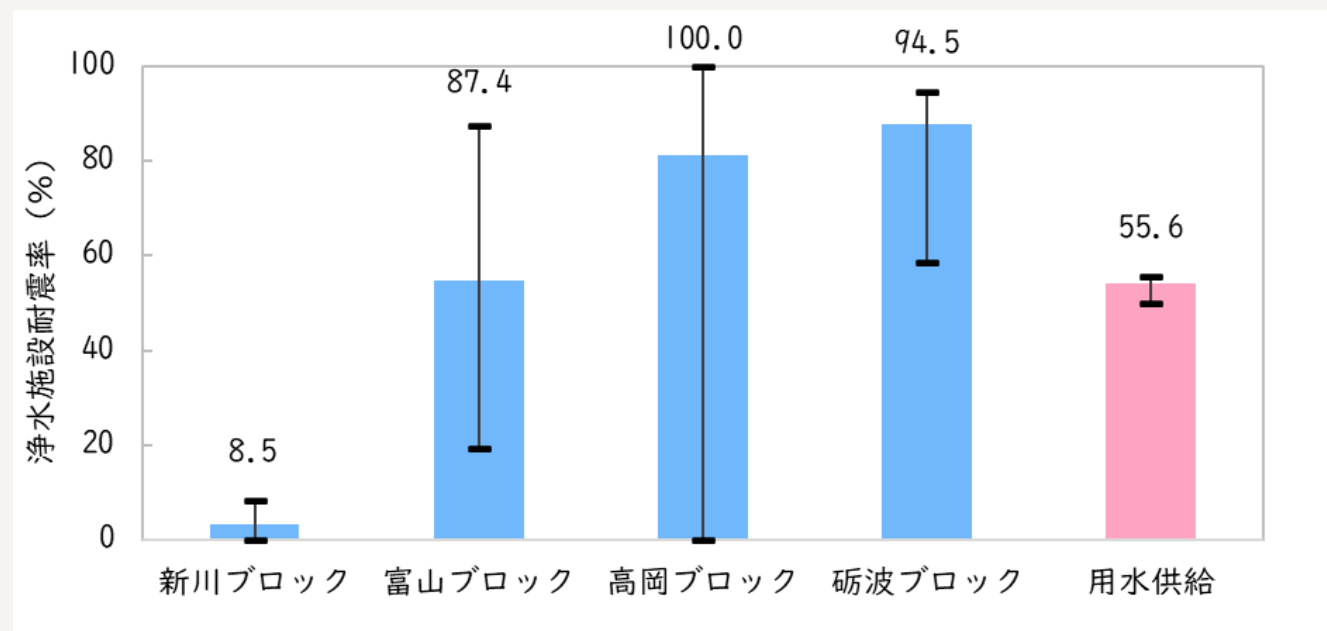


第4章 水道の概況

都道府県全域及び圏域ごとについて、水道の普及状況、施設数、水道の管理体制、水源の状況、簡易専用水道等の管理状況、経年化・耐震化の状況、水道料金、広域連携に向けた取組状況について記述します。

- 水道事業の概要
- 水道施設の概要
- 施設・管路の経年化
- 施設・管路の耐震化
- 職員の状況
- 経営状況
- 水質管理
- 危機管理及び災害対策

▼ 記載例（浄水場の耐震化状況）



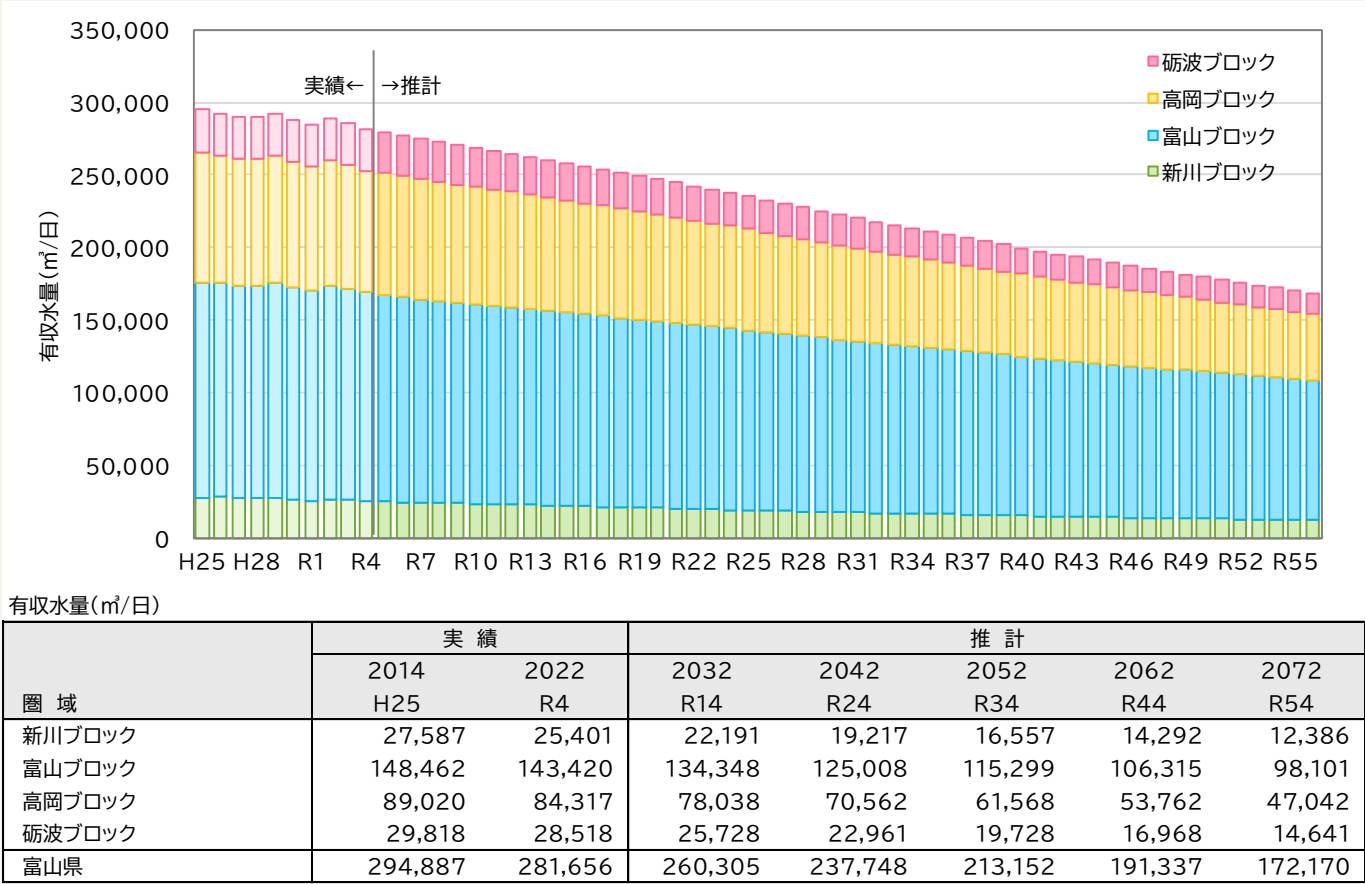
「水道事業ガイドラインJWWA Q100」に基づく業務指標（PIなどを利用）

第5章 将来の事業環境の見通し

都道府県及び圏域ごとの給水実績及び需要と供給の見通しを整理します。

- 人口
- 給水量
- 災害リスク

▼ 記載例（有収水量の将来推計）



第6章 水道行政の現状と課題

水道の現況や水需給の見通しを踏まえ現況を評価し、以下の3つの視点について検討の上、圏域毎の課題を明らかにします。

富山県水道の理想像

安全

水道水の安全

- ・施設の維持管理や更新需要に対する財源確保
- ・水道の技術力や経営管理のノウハウにおける人材確保
- ・施設の老朽化等に対する事業の実施計画の策定 等

持続

運営基盤強化

- ・水源汚染のリスクの存在への対策
- ・簡易専用水道、小規模貯水槽水道や飲用井戸の対策
- ・水質検査実施体制及び水質検査の信頼性の確保 等

強靱

危機管理・災害対策

- ・水道施設の耐震化の実施
- ・重要給水施設への基幹管路の耐震化の実施
- ・広域的な災害時の様々な対策の検討 等

第7章 将来目標の設定と実現方策

都道府県全域について、約50年先を視野に、水道の将来に向けた理想像を設定します。

また、実現方策を具体化するために、都道府県の水道行政として重点的な実現方策の取り組み事項を掲げます。

- 都道府県全域について、将来に向けた水道の理想像を設定
- 理想像を踏まえ、実現方策を検討
- 都道府県又は圏域ごとに実現方策の推進に係る目標を設定
- 発展的広域化の取り組み推進の具体策を記載

6章で挙げられた課題に対し、解決策として水道施設の耐震化や広域連携などに触れながら富山県水道ビジョンを策定していきます。

第8章 関係者の役割とフォローアップ

目標達成に向けて、県、水道事業者等が取り組むべき具体的な事項を示すとともに進捗状況の評価方法を示します。

- 関係者の役割
- フォローアップ

第9章 用語集

専門用語について、解説を記載します。

- 用語集